

JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 **速報**

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1249 2020年9月10日発行

安全性情報

METエクソン14スキッピング変異を有する非小細胞肺癌における Tepotinib : オープンラベル Phase II 試験

Tepotinib in Non-Small-Cell Lung Cancer with *MET* Exon 14 Skipping Mutations

P.K. Paik (Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York/USA), ほか

N. Engl. J. Med. 383 (10) 931-943 / (2020. 9. 3)

グレード3以上の主な毒性作用として末梢性浮腫が認められた。

METエクソン14スキッピング変異または **MET**増幅を有する非小細胞肺癌における Capmatinib : マルチコホート Phase II 試験

Capmatinib in *MET* Exon 14-Mutated or *MET* Amplified Non-Small-Cell Lung Cancer

J. Wolf (University Hospital Cologne and University of Cologne, Cologne/Germany), ほか

N. Engl. J. Med. 383 (10) 944-957 / (2020. 9. 3)

低グレードの末梢性浮腫と悪心が主な毒性作用であった。

アイカルディ・グティエール症候群における Janus キナーゼ阻害 : 単施設, 拡大アクセスプログラムのオープンラベル試験

Janus Kinase Inhibition in the Aicardi-Goutieres Syndrome

Adeline Vanderver (Children's Hospital of Philadelphia, Philadelphia/USA), ほか

N. Engl. J. Med. 383 (10) 986-989 / (2020. 9. 3)

Janus キナーゼ阻害薬 baricitinib 投与の主なリスクは、血小板増加症、白血球減少症、感染症であった。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館 / 文献複写サービスよりお申込みください。
(<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)